

第2次魚津市環境基本計画（案）パブリックコメント実施結果

意見の概要と市の考え方

番号	ご意見	ご意見に対する市の考え方
1	<p>今回の計画には記載はせずとも将来の事業 努力目標として。</p> <p>当初は市民の身近な環境指標 温度 湿度 積雪を魚津市独自の観測点を設けて例えば海岸線 街中 中山間 山間地の公共施設、公民館コミュニティセンターを拠点に観測。</p> <p>上記のデータを公表し市民の環境意識向上、魚津市住環境アピールやSDGs等の取り組みの一助に取り入れ世の中にアピールしてみる。</p> <p>まずは家庭用の観測機器を利用し効果が確認されれば本格的な機器を用いて風力 日照時間等を入れ本格運用する。</p> <p>埋没林館にも気象知識豊富な学芸員も配属されていて、今回の大雪昨今夏の高温など気象環境を用いて分かりやすく解説数値化する。と努力目標を掲げるのも必要かと思います。</p> <p>余談ですが、今回のスローガン Word 水が旅するうおづ 若手職員の感性 発想が十二分に發揮されたのかと思います。</p>	<p>市内での気象観測を推進することは、蜃気楼をはじめとする魚津の気象・環境を理解することを深めるために非常に価値があることと思います。</p> <p>魚津市内での気象観測は、以下の地点で行われ、ウェブで公開されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメダス魚津（気象庁：気温・降水量・風向風速・日照時間・積雪深） ・魚津市本江（富山県：気温） ・魚津市北鬼江（富山県：風向風速） ・魚津埋没林博物館（魚津市：気温、湿度、気圧、風向風速） <p>その他にも国土交通省「川の防災情報」で市内河川の一部で雨量が公開されているほか、一般の研究者等の民間での観測データもあるかと思われます。</p> <p>地上での観測データと気象モデルを合わせたデータセット等で補完的に用いることができますが、元となるのは地上や高層での実測や衛星での観測ですので、実際の値を得ることの価値は十分あります。</p> <p>一方、現在のデータを活用していくことの大切さもありますので、まずは整理を行い、そしてご意見いただいたような学校など身近な場所での観測を開始できると、教育面でも効果的と考えています。</p> <p>ある程度の精度を担保した観測を行うには、まとめた費用やメンテナンスが必要ともなりますので、継続可能で効果的な観測手法の検討を進めてみたいと考えています。</p>